

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	滝川市こども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 67	(回答者数) 20	
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数) 6	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 多職種が協働して、お子さんへの支援計画を検討することができる。 今年度からSTの配置が再開し、専門職が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画書作成時、多職種で支援内容を確認しており、様々な視点から内容を検討することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職が増えており、より専門性の高い内容で意見交換をしていけるように努める。
2	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導でお子さんの特性に合わせた支援ができる。 保護者が同席するため、保護者支援も並行して実施することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの特性に合わせて、できる範囲の中で環境を調整している。 個別支援の中で集団を意識した関わりを行っている。 通所回数が少ない状況ではあるが、保護者様とともに連絡をとるように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて多職種でお子さんへの支援を行っている。 小集団の関わりも保護者の希望を聞きながら、必要に応じて対応を検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 通所回数が少ないお子さんもいるが、お子さんが楽しみに通所することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんのペースに合わせながら、楽しめる環境を整え支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの状況を多職種で確認し、より楽しめる活動を提供していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の通所回数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 通所児童数が増加している。 職員の退職や変更等により、特定の職員が受け持つ担当児が増加してしまった状況がある。 事務作業が多く時間が取られてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導担当の新規職員が担当児を増やすことで、特定の職員の負担が減り、通所頻度の変化に繋がる可能性がある。 事務業務等の効率化を図り、指導業務等の時間を増やしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 言語面等の専門的な支援が一部不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職を採用したが、新規採用1名であり、多くのニーズに対応できない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職の人員確保に努めていく。また研修や講習会等に参加し、専門性を高めていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 限られた環境であるため、通所時間が重なるお子さんに合わせて都度、対応を検討する必要がある。 古い建物で室温の調整が難しい時期があるため、体調管理に注意が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた環境であるため、工夫が必要である。 古い建物で設備等不十分な面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 物的な環境を大きく変えることは困難であるため、事前に通所児童を確認し、時間帯で部屋を分ける、お子さんの特性に応じて環境を調整する等、工夫しながらの対応は継続していく。